

「くまもと88」に関連して 問う

問

- ① 観光用道標看板設置場所地主への謝礼は今年だけか。
- ② 設置する道標は、何箇所か。また、今後つける予定は。
- ③ 観光地めぐりバス借上は、観光案内ボランティア養成を目的としたものか。単なる観光地めぐりか。

答

- ① 1カ所約10000円で、10万円を計上している。設置した年度だけである。
- ② 1本3万円、今年度100本程度計画している。これは、作製から設置までの費用を見込んでいる。大体3年計画をめぐり、年間約100本の3000本を目標にしたい。
- ③ 観光ガイドボランティア育成を行いたい。マイクロバス3台分を予定している。1回ないし2回は、ボランティアガイドを育成するために地域を回りたい。地域めぐりする箇所を設定し、市外の方にも回ってもらい、アドバイスをいただくといった試験的なもの



88カ所を掲載したパンフレット

のを行いたい。
来年度からは、一般の方を募集し、参加費もいただき実施したい。

コミュニティ助成事業 について

問

今年度のコミュニティ助成事業の内容は。

答

例年どおりの事業で、自治総合センターの補助金である。事業内容は、米湊A-1広報区が子どもみこし、ハッピー等の購入への補助金160万円、宮下広報区が太鼓の購入への補助金190万円、郡中

中山小学校音楽室 アスベスト事前調査

問

- ① 今回の工事に至った経緯は。
- ② どのような設計になるのか。
- ③ 入札時期と完成予定は。

答

①平成17年11月にアスベスト含有調査を実施した際、中山小学校の音楽室も調査を行った。市内ではアスベスト含有なしとの報告を急がせていたが、平成20年度に、文部科学省より、当時国内ではないと思われていたトレモライトが他県で発見されたため、再度トレモライトも調査対象とした詳細調査を実施するよう通達があった。それを受け、再調査したところ、石綿の一種のクリソタイルが0.9%含有されていることが判明した。

今回の調査は、基準値が従来の1.0%未満から、改正により0.1%未満へと強化された関係で、アスベストが含有されているとの報告を受け、使用停止とするかどうかの判断基準とするために、3月28日に大気中の飛散測定調



中山小学校音楽室のアスベスト調査

査を実施した。結果は、基準を大幅に下回っており、通常使用には支障はないが、県が発行している石綿対策マニュアル等に基づき判断し、部屋としては使用頻度が高く、早い時期に除去等の措置を行うため、今議会に予算計上した。音楽室の使用は、外部の意見もあり、工事終了まで使用禁止とし、生活科教室で音楽の授業を行うことにしている。

②工事は、音楽室すべてに飛散防止措置を行い、入り口にセキュリティゾーン設置の上、天井台ごと除去し、その後新しい天井張りつけ及び吹きつけを行う予定である。

③入札は、議決後早急に対応し、完成は夏休み中の8月末までに対応していきたい。